

藤里町体育協会創立 50 周年記念 式典・祝賀会を盛大に開催

～永年の功績をたたえ、42名を表彰～



会長あいさつ

その後、平昌冬季パラリンピック・バイアスロン競技に出場した高村和人氏（仙北市出身・盛岡視覚支援学校教諭）を講師に招き、「ZEROからの軌跡」

記念式典では42名の方々へ表彰状を授与した後、加藤十体育協会会長が「諸先輩の築いてきた伝統と、これまでご支援をいただいた地域の皆さま方に報いのべく、加盟団体とともに努力をして参りたい」と式辞を述べられ、佐々木町長より「幾多の試練に耐え、輝かしい伝統を築いてこられた貴協会が、10年、20年先も発展し続けることを願います」と祝辞が贈られました。

7月7日(日) ホテルゆとり
あ藤里において、藤里町体育協会創立50周年記念式典・祝賀会が開催され、各協会役員や表彰

平昌冬季パラリンピックを戦い終えて」と題して記念講演が行われました。

に視力が徐々に低下していく難病を発症し、大好きだった野球やスポーツを諦め、つらい中学時代を経験しましたが、盛岡市の盲学校に進学して、全盲の恩師との出会いが、立ち直るきっかけとなり、障害者スポーツに取り組むことができました。

トレーニングでは家族が一緒に手伝ってくれ、家族の支えに感謝をしており、また、ガイドスキーイヤーと呼ばれる伴走との信頼関係の大切さを強調していました。

最後に高村氏は、このような機会をいただくことによつて、障害者への理解が深まり、もつと良い社会になるのではないかと語っていました。



記念講演

平昌冬季パラリンピックを戦い終えて」と題して記念講演が行われました。高村氏は小学校5年生のときに視力が徐々に低下していく難病を発症し、大好きだった野球やスポーツを諦め、つらい中学時代を経験しましたが、盛岡市の盲学校に進学して、全盲の恩師との出会いが、立ち直るきっかけとなり、障害者スポーツに取り組むことができました。

トレーニングでは家族が一緒に手伝ってくれ、家族の支えに感謝をしており、また、ガイドスキーヤーと呼ばれる伴走との信頼関係の大切さを強調していました。

最後に高村氏は、このような機会をいただくことによって、障害者への理解が深まり、もつと良い社会になるのではないかと語っていました。

◆50周年記念受賞者

- ◇50周年記念受賞者

これまでの藤里町体育協会展にご尽力され、今回表彰を受けられた方々（42名）は次のとおりです。



表彰状授与

(敬称略)